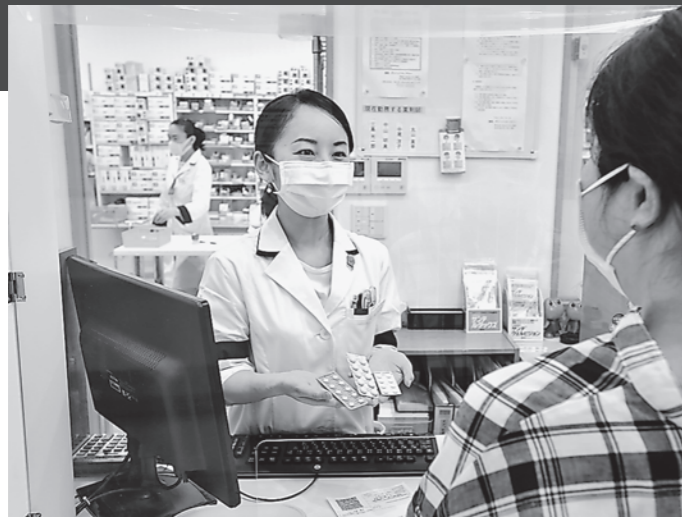


きょう10月17日から「薬と健康の週間」

# 薬剤師身近に 役割進化



来店客に薬の説明をする薬剤師。近年気軽に相談できる「かかりつけ薬局・薬剤師」の重要性が高まっている＝神戸市中央区琴ノ緒町5、薬局グリーンファーマシー

## 「かかりつけ」の選定推奨

「まず薬剤師の仕事は、

薬局や病院に勤めて医師の処方箋に基づいて薬を調剤し、患者に手渡す仕事がよく知られているのではないだろうか。病院勤務なら入院患者の注射薬の調整、ドラッグストア勤務なら一般医薬品（OTC医薬品）の説明や販売に関わることも多い。そのほか製薬メーカーで新薬の研究開発、保健所などの行政機関でいろいろな検査や指導にあたる人も。小・中・高校で教室や水泳プールの環境衛生に関わり、薬物乱用防止教育などを行う学校薬剤師もいます。

## 薬の重複防ぎ 安全・安心に



兵庫県薬剤師会会長 笠井秀一氏

「最近よく耳にする「かかりつけ薬局・薬剤師」について。医療は、医師と薬剤師を両輪として成り立っています。国が段階的に進めてきた医薬分業のメリットを最大限に生かすのが「かかりつけ薬局・薬剤師」の情報が二元的、継続的に把握され、薬の重複や相互作用の防止につながります。かかりつけ薬局・薬剤師は開局時間外の夜間や休日、また必要なら自宅訪問

薬剤師は国家資格を持つ薬のプロフェッショナルで、病気の治癒や健康維持のために欠かすことのできない存在。調剤した薬を患者に渡す以外にも、さまざまな業務にあたっている。10月17日から1週間は、医薬品の正しい

使用法や薬剤師の役割を発信する「薬と健康の週間」。

「かかりつけ薬局・薬剤師」など現代に求められる役割や、兵庫県薬剤師会の取り組みについて笠井秀一会長に聞いた。

## 講演会や健康測定会主催



県薬剤師会が主催する「薬と健康フェア」（昨年11月、西宮市内）。例年県内各支部がイベントを企画、薬の相談会、健康測定会などを行っている

「薬と健康の週間」における兵庫県薬剤師会の活動は、

「薬と健康の週間」を設定する目的は、薬を正しく使用する大切さや薬局・薬剤師の役割の重要性を知ってもらうことです。国と日本薬剤師会を中心として全国的に活動しており、県薬剤師会では例年、県内15支部がそれぞれ企画して講演会やお薬相談会、フレイルチェックなどの健康測定会を主催。今年

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で規模を縮小しますが、一部の支部は健康相談などを実施する予定です。

県薬剤師会は県病院薬剤師会と連携している関係で、都道府県の薬剤師会としては全国トップとなる約8400人の会員がいます。薬局と病院という異なる現場の薬剤師が人事交流を定期的に行い、スキルアップに努めているのも特徴です。

## 「節薬バッグ」作成し啓発



そのほか県医師会、県歯科医師会と合同の「お薬手帳や飲み残しを入れる「節薬バッグ」を作成し、会員を通じて県民に配布する活動も日常から行っています。3師会によるお薬手帳を用いる患者さんの多くが、薬局だけでなく病院でも活用しようと考えているようになっています。残薬を節薬バッグに入れて薬局に持参し、有効利用につなげようとする患者さんも増えています。いずれも適正な投薬を進めることで安

県薬剤師会が制作した「節薬バッグ」と、3師会が協力して発行した「お薬手帳」（子ども用）

心・安全な薬の利用はもちろんです。医療費の適正化、ひいては県民の負担減につながる取り組みとされています。

「地域住民に公衆衛生の正しい情報を伝える役割もあります。」

新型コロナウイルス対策として、日常における衛生管理が重要なことはいふまでもなく周知されました。しかし多くの人が初めて経験する感染症の大流行ですから、分からないことやエビデンス（科学的根拠）が十分でない情報を疑問に思うことも多いのではないのでしょうか。消毒液のアルコール濃度は高ければよいのではなく75〜85%が効果的であることなど、薬剤師の基礎知識として答えられることもあります。

かつては処方箋がなければ入りづらかった薬局が、時代とともに変わりつつあります。かかりつけ薬局・薬剤師がさらに普及促進して、薬だけでなく生活衛生についても気軽に相談できる存在になれば、今よりもっと県民のお役に立てると思っています。

## 地域住民の健康支援など 機能別薬局増加へ

も行いながら、薬の相談などに応じます。年を重ねるとともに複数の診療科を受診することが多くなり、飲む薬が増え服薬も長期化しがち。ときに薬害を引き起こす可能性もあります。かかりつけを1カ所の信頼できる薬局に決めてお薬手帳も1冊とし、さらには最も親しくできそうな薬剤師を選ぶことで、安全・安心な服薬につながります。

かさい・しゅうち 1958年、神戸市出身。第一薬科大卒業後、83年に関西医科大学大付属香里病院に勤務。88年、エビラフアーミー取締役。現在、代表取締役。94年、兵庫県薬剤師会理事、常務理事、副会長を歴任。08年から日本薬剤師会理事、常務理事なども務める。16年6月より現職。